

事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表日: 令和6年4月5日

事業所名: ABAスタジオこれっと

職員数 4

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		小集団で活動するスペースとして、十分な広さではないので、物の置き場所の工夫や整理整頓を徹底していきたい
	2	職員の配置数は適切であるか	○		支援レベルを向上させるために、ST、OTなど専門性の高い職員の配置を検討している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		滑り止めのシートをスロープに敷いている。転倒事故防止のため、手すりを付けること等も検討している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		業務内容の役割を決めた上で、主担当、副担当を交えて職員会議などで意見交換をし、職場環境の改善に努めている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	/	/	今年度の評価結果を踏まえて業務改善につなげていく予定
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	/	/	自己評価及び保護者向け評価表は、ホームページを通して公表している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現在第三者評価は実施できていない。全般的なサービスの改善に向けて、今後検討していきたい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		虐待防止、感染症、災害対応などの研修の他、ABA(応用行動分析)の研修を定期的に行っている
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		行動観察や保護者からの聞き取りに加えて、他機関で受検されたアセスメントを参考にして支援計画案を作成している
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		行動観察やABC分析の他、Vineland II、感覚プロフィールなどのアセスメントを活用している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		言葉/コミュニケーション、遊び/社会性、学習、微細運動/粗大運動等とともに、家族支援、地域支援を計画の中に盛り込んで支援内容を設定している
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		個別支援計画をもとに毎回のプログラム内容を決めて、支援を実施している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		活動時間に余裕がある曜日に、クッキングや運動、遊びのプログラムを実施している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		集団活動では、コミュニケーション、ライフスキル、運動、遊びなどを取り入れている。個別プログラムでは、お子さんの目標に応じて課題を設定している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		支援開始前に療育内容と教材、療育の流れや役割分担の確認をしている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	パートスタッフの終業時刻と送迎時刻が重なるため、振り返り時間は十分ではない。翌日の朝礼で振り返りや情報共有の機会を設けていきたい

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		個別支援計画に沿った提供記録になるように、その都度内容を確認している
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		概ね6ヶ月に1回モニタリングを行い、計画の見直しをしている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		言葉/コミュニケーション、遊び/社会性、学習、微細運動/粗大運動等とともに、家族支援、地域支援を計画の中に盛り込んで支援内容を設定している
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		学校、放デイ事業所、相談支援事業所が参画したサービス担当者会議には、管理者(児発管)が参加させていただいた
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		送迎時に学校の先生から様子を確認させていただいている。保護者からは年間行事、予定などの確認をしている。送迎の行き違いが起きないようにするため、利用時間や下校時刻の確認を徹底していきたい
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	/	/	該当する利用者なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	保護者を通して間接的に聞き取りをさせていただくことが多かった。保護者からの要望に応じて、連携させていただきたいと考えている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	/	/	該当する利用者なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		発達障害者支援センター、児童発達支援センターから案内された研修をスタッフに周知している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	事業所として放課後児童クラブや児童館と交流する機会がなかった。どのような形の交流ができるか検討していきたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	今年度は参加する機会がなかったため、要請があれば参加することを検討していきたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		療育時、連絡帳やLINE等を通して、随時情報共有させていただいている
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		集団でペアトレはしていないが、個別に関わり方をお伝えしている	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時の重要事項説明で児発管から説明させていただいている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		連絡帳や公式LINEを通じた相談の他に、必要に応じ保護者面談を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		今年度末に保護者会を実施し、「将来に向けて必要なこと」を説明させていただいた

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		電話連絡等いただいた時は記録に残して、すぐに対応するように努めている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		お知らせなどを通して定期的に事業所情報を発信できていなかったため、次年度は会報などを通して周知することを検討している
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報の管理、処理について徹底している。名前や個人情報が入っているシートは、必要が無くなればシュレッダーで処理している
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		一人ひとりに合わせた伝え方、視覚支援など、お子さんに応じた支援を行っている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		昨年6月と7月に、地域にお住まいの方を対象にしたイベントを実施した。参加人数が少なかったため、次年度は地域の方に参加いただけるイベントを考えていきたい
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		相談室の机の上にマニュアルを設置するとともに、ホームページにマニュアルを掲載している。周知が不十分だったため、次年度は保護者に向けて情報の周知を図りたい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		火災からの避難訓練等を実施したが、実際に災害が起きたことを想定して訓練の回数を増やしていきたい
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止マニュアルをもとに研修を行った。次年度からは虐待防止チェックリストを導入していきたい
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		虐待の種類、虐待に該当する行為等をスタッフ間で共有している。対応についてのガイドラインを作成する等、職員の共通理解を深めていきたい
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		インテイクの際に、食物アレルギーの有無などを保護者に確認している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		怪我や事故につながる可能性のある事例は、報告書を作成し、職員間で情報を共有している